

議会だより

No.119 平成23年6月定例会 7月16日発行

議会ホームページアドレス <http://www.city.nanyo.yamagata.jp/webs/gikai/>

主な内容

- 6月定例会……………2～3
- 予算特別委員会……4～5
- 一般質問……………6～8
- 常任委員会審査報告…8～9
- 委員会管内視察報告…9～10
- 置病、置広議会報告……11
- 文教厚生常任委員会
アンケート報告……12～13
- 全国市議会議長会表彰、謝辞…14



「やれば出来る」

元気にがんばる子どもたち(20) 沖郷ミニバスケットボールスポーツ少年団

沖郷ミニバスケットボールスポーツ少年団は、今年度26年目を迎えました。現在1年生から6年生まで男女総勢30名で週3回の練習に励んでいます。

今までは水曜日以外は男女別々の練習日でしたが、4月からは男女一緒に新しい沖郷小学校体育館で練習が出来るようになりました。

団員には練習を通じ「自主性・協調性・思いやり」を養ってもらえるよう今後の活動も頑張っていきたいと思えます。少ない人数ですがこれからも応援よろしくお願ひします。



6月定例会

6月定例会は2日より21日までの20日間の会期で開かれました。提出された議案は、承認案2件、報告4件、諮問案1件、同意案6件、条例、その他4件、補正予算6件が提案され、それぞれ原案のとおり可決されました。一般質問は5議員が行い、市当局の考えを質しました。

▲諮問▼

○人権擁護委員候補者の推薦について任期満了に伴う候補者推薦
後藤 勇吉(再) 宮内三一二

▲同意▼

○南陽市固定資産評価審査委員会委員の選任について任期満了に伴う選任
山田 英実(再) 三間通三二二

○南陽市宮内財産区管理委員の選任について任期満了及び欠員に伴う選任
佐野 憲一(再) 宮内三四五〇

市川 武男(再) 宮内二八三六の二
大竹 徹(新) 宮内三一八八
恩地耕一朗(新) 宮内三四七七の一

○南陽市金山財産区管理委員の選任について任期満了に伴う選任
菅野 洋志(新) 金山七八九の内一

菅野 裕助(再) 金山四三四の二
山口 利昭(新) 金山五〇七三の三
菊地 寿美(新) 金山三九二一

島津善衛門(新) 金山七三三五
竹田 常夫(新) 金山三一八九
泉妻 隆一(再) 金山三五二八

○南陽市池黒財産区管理委員の選任について任期満了に伴う選任
安彦 隆(再) 池黒六二七

梅津 仁博(新) 池黒一五二〇
松田 典男(新) 池黒四一三の二
佐藤 和夫(新) 池黒一三九六

滝澤 徹(新) 池黒一四五五
加藤 忠男(新) 池黒一七四八の二
川合 健一(新) 池黒一五九一
○南陽市赤湯財産区管理委員の選任について任期満了に伴う選任
神尾 伸一(再) 赤湯三二二一五

齋藤 博(再) 柗塚六五三の三
菅野 直彦(再) 赤湯四一八の二

○南陽市沖郷財産区管理委員の選任について任期満了及び欠員に伴う選任
鈴木 義郎(新) 宮崎八六一

寺山 昭次(再) 露橋三六三の二

平 久男(新) 関根二九一
長谷部俊一(新) 法師柳三四一
大滝 利美(新) 西落合二〇四
石垣 純一(再) 中落合六三〇の五
鈴木 長逸(新) 萩生田九一五

議会を傍聴してみませんか!!



原則として中学生以上の人であればどなたでも議会を傍聴することができます。

次回の定例会は9月に召集される予定です。市民の皆様は傍聴をお待ちしております。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

(TEL) 40-3211

内線303

6月の定例会の提出議案と議決結果

議案番号	議案名等	議決結果
承第 6号	平成23年度南陽市一般会計補正予算（第2号）についての専決処分の承認を求めることについて（震災対応緊急経済対策関連費の補正のため）	全会一致で可決
承第 7号	南陽市税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認を求めることについて（地方税法の一部改正のため）	全会一致で可決
報第 1号	平成22年度南陽市一般会計予算繰越明許費の繰越額報告について	全会一致で可決
報第 2号	平成22年度南陽市一般会計予算事故繰越の繰越額報告について	全会一致で可決
報第 3号	南陽市土地開発公社経営状況説明書の提出について	全会一致で可決
報第 4号	株式会社ハイジアパーク南陽経営状況説明書の提出について	全会一致で可決
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	全会一致で可決
同意第2号	南陽市固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致で可決
同意第3号	南陽市宮内財産区管理委員の選任について	全会一致で可決
同意第4号	南陽市金山財産区管理委員の選任について	全会一致で可決
同意第5号	南陽市池黒財産区管理委員の選任について	全会一致で可決
同意第6号	南陽市赤湯財産区管理委員の選任について	全会一致で可決
同意第7号	南陽市沖郷財産区管理委員の選任について	全会一致で可決
議題32号	平成23年度南陽市一般会計補正予算（第3号）	全会一致で可決
議題33号	平成23年度南陽市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
議題34号	平成23年度南陽市財産区特別会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
議題35号	平成23年度南陽市介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
議題36号	平成23年度南陽市水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
議題37号	平成23年度南陽市下水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
議第38号	南陽市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数で可決
議第39号	南陽市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致で可決
議第40号	南陽市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致で可決
議第41号	南陽市道路線の認定について	全会一致で可決

6月定例会 補正予算の概要

補正予算額 **5億1,105万6,000円**

(一般財源 5,421万4,000円)
(特定財源 4億5,684万2,000円)

平成23年度一般会計総額 **128億5,194万4,000円**に

(単位：円)

1) 要援護高齢者マップ整備費	237万4千	主 な 項 目	7) 金山多目的研修集会施設整備	
2) 肝炎ウイルス対策検診費用	135万9千		(体育館に物置小屋増築)	250万
3) 農作物放射能安全検査費用の助成	50万7千		8) 交流プラザ「蔵楽」施設改修工事(雪害)	157万
4) さくらんぼ産地強化対策事業			9) 中央花公園イベント広場等整備工事	1,750万
(ハウス整備に対する補助)	500万		10) 洪水ハザードマップ織機川流域追加作成	68万5千
5) 創意工夫プロジェクト支援事業			11) 漆山小学校施設整備工事	
(酪農事業への補助)	1,557万7千		(校舎、屋内体育館)	3億4,972万
6) 雪害復旧対策補助			12) 市民会館耐震診断委託料	300万
(果樹棚復旧、補植用苗購入)	696万3千			

予算特別委員会による質疑

6月17日、予算特別委員会が開催され、今年の菊まつり会場となる中央花公園のイベント広場等整備事業や、市民会館耐震診断問題などについて質疑が交わされました。なお、主な内容は次のとおりです。

一般会計

◎児童福祉費について

〈議員〉昨年、熱中症対策として「地域子育て創成事業費」の補助を活用して、各児童福祉施設へのエアコンの設置を求めたが、その後の経過はどうだったか。

〈福祉課長〉その補助金を活用して吉野児童館にエアコンを設置した。漆山保育園、こぼと保育園では遊具の購入に活用した。この補助金は使い道が限定されており、エアコン等環境面での整備については今後補助メニューの検討をしていきたい。

〈議員〉今年度の各児童福祉施設へのエアコン整備の見直しは。

〈福祉課長〉エアコン整備への補助が認められているのは、学童施設だけである。漆山保育園は、学童でエアコン設置がなされている。こぼと保育園では、施設内にエ

コン設置の部屋がある。全部屋への設置は到底難しいが、今後計画的にエアコン整備を考えていきたい。

◎公園費について

〈議員〉今年新たな菊まつり会場となる中央花公園内イベント広場整備計画の概要について伺いたい。

〈建設課長〉自動車学校入口新生橋左岸側の7000㎡位の平場を利用し、そこを菊まつり会場としたい。平時には、多目的な活用ができるよう整備を進めていきたい。5000㎡ある河川敷は、敷砂利し、200台くらいの駐車場としての整備を考えている。9月中旬までは遅くとも工事の完了をめざしている。

〈商工観光課長〉5月26日に第99回南陽市菊まつり実行委員会設立総会を開催し、基本計画を定めた。開期は、10月22日から11月13日までの23日間で、入場料は前売券な



イベント広場整備予定地

しの大人300円に対応する。市民への誘客活動として、一世帯一枚の無料券を配布する。今年のテーマは「わたちの戦国（仮称）」とした菊人形展を考えている。

〈議員〉中央花公園広場は、市民体育館、ドリームランドなどスポーツや憩いの場として大変親しまれている。そこで、イベント広場も、市民はもとより市外の方々も広く活用できるようにしっかりとした施設整備をお願いしたい。

〈建設課長〉広く活用できる施設とすべき、全くその通りである。

◎公民館運営について

〈議員〉3つの公民館に市職員を配置して3カ月経過するが、その人的配置の効果はどうか。

〈社会教育課長〉各公民館活動はもとより、南陽市全体との協力関係を構築したいとの考えから取った措置である。5月の成人式の際には、3公民館からの大きな協力をいただくなど、連絡、連携がすみやかにできるようになった。今後大きな行事等も計画したいと考えており、結果を出すには、もう少し時間が欲しい。

〈議員〉公民館は文字通り、地域コミュニティのセンター的役割を担っている。市職員を配置することによって、その役割がより一層強化されたわけであるから、教育委員会の指導の下、市と各地域との連携を是非勧めしてほしい。

◎市民会館耐震度調査について

〈議員〉市民会館耐震度調査として、300万円の委託料が計上されているが、新文化会館の建設も考慮に入れたその後の経過はどのようになっているか。

〈企財課長〉4月26日に新文化会

館建設の第1回検討委員会を開催した。委員会の下には作業部会を立ち上げ、現場視察をしたり情報等の収集に務めている。

〈議員〉具体的にはいつ頃を目途に結論を出すのか。

〈企財課長〉今年度中に大まかな方針を出していきたい。

〈議員〉いずれにせよ、市民の声、利用者の声を大切にして欲しい。



◎小学校費について

〈議員〉プール授業がまもなく始まる時期になったが、放射線量の関係で父兄の間に不安が広がって

いる。果たして本当に安全なのか。学校にある簡易測定器で毎日計測の上、安全を知らせる取り組みはできないものか。

〈教育次長〉6月3、4日と県では山形、米沢などサンプル調査を行い、県知事名で安全宣言を出している。プールの水は、置賜広域水道を使用しており、毎日検査がなされており問題はない。よって学校プール、市民プール共予定通り実施する。また、空間放射線量については月2回の測定を実施しているが、いずれも人体に影響のないレベルであったし、今後も急激に数値が上がるようなことはないともみている。

〈学校教育課長〉学校にある2台の放射線を測る器材については、消防署にある簡易測定器とも違い、ほぼ目安程度にしかならず、数値としては利用できかねるものである。

〈議員〉できる範囲でしっかりと検査をし、保護者にきちんと安全だという説明をしていただきたい。

市政に対する議員の 一般質問と答弁要旨



東日本大震災の市の対応
と放射線の影響について
梅川 信治 議員

◎南陽市の被害状況について。

〈市長〉この度の大地震により重傷者1名、住宅等の損壊41棟、私道の陥没等被害49カ所、学校は耐震化補強工事を行ったので被害が少なかった。

◎他の公共施設についても耐震化補強工事が必要ではないか。

〈市長〉公共施設等は有事の際避難所等になるので今後予算と照らし整備していく。

◎義援金について。

〈市長〉5月末まで受け付けた義援金は約83万円に達した。市民の多くの皆さんから温かいご支援を頂き感謝申し上げます。

◎自主防災組織の状況について。

〈市長〉4月現在、市内の自主防災組織が73地区で設立済、今後全地区で取り組むよう要請している。昨年、梨郷地区に連携協議会が組織化された。現在、赤湯地区でも組織化に向け準備している。将来は市一つの自主防災連絡協議会を設置したい。

◎地区の自主防災に財政的支援を行っている。

〈市長〉必要なものには随時対応しているが、どのようなものが必要なのか具体的なものがなければ対応できない。

◎原発事故に伴う放射線の影響について。

〈市長〉市内における放射線の汚染状況は市役所広場で0.14マイクロシーベルトと健康に影響を及ぼさない値である。農用地について、土壌からは放射性物質が検出されていない。水道水からはヨウ素が検出されていないので飲んでも安全である。



南陽市の教育について
川合 猛 議員

◎福島県より避難して市内の学校に通っている児童・生徒の人数、学校生活の様子について。

〈教育長〉5月末日現在、市内小中学校に区域外就学している児童生徒は、24名で、うち小学生が18名、中学生が6名です。現在において福島県以外からの避難児童生徒はおりません。

ほとんどの子供たちが毎日の授業や生活にも慣れ、仲間とも十分打ち解け合いながら生活しております。中には、小学校学童陸上記録会に出場し活躍をみせた児童や学習面で学級をリードするような生徒もおり、互いに切磋琢磨し充実した学校生活を送っている。転入時の面談では人間関係への不安を持つ保護者もおり、丁寧な説明と励ましを行い、継続的に家

庭との連携を図ってきた。

これまでの温かな学校等の対応に、感謝の意を教育委員会に届けきた保護者の方もいる。現在、避難児童生徒の子どもたちは概ね元気に通学している。

しかし、新しい生活の中で、登校に不安を感じている児童生徒についても、若干名報告を受けている。担任や学年主任が保護者と面談を行い、家庭訪問を状況に合わせて断続的に行うなどの対応をしている。

避難児童生徒及び保護者への支援ですが、市としては児童生徒、園児の給食費の半年分を無料にしたところです。

また、心配された学用品、教科書教材等は、国及び県からの通知連絡に基づき、授業に支障がないように手配をした。

◎親子で心に大きな傷を負った生活です。この先1年になるのか3年先になるのか全く先の見えな中、この南陽市で過ごした学校生活が多くて友達が出来、素晴らしい思い出と成る様どうぞよろしくお願いを致します。



地域防災とがん検診
及び学校給食について
よしだ みえ 議員
吉田 美枝

◎災害発生時の避難誘導及び自主防災組織に対する活動支援策は。

〈市長〉 避難情報の伝達は、地域防災計画に定めている適切な方法により行う。避難経路の指定は、種類や規模など災害状況を分析し、現地事情に精通した方と防災関係機関が協議決定し、安全かつ迅速に避難できるよう誘導に努める。

〈福祉課長〉 福祉マップ作成のため予算を6月補正に計上している。要援護者を目に見える形で確認できるデータを整備し、支援強化を図っていききたい。

◎がん検診受診率向上への新たな取り組みは。子宮頸がん予防ワクチン接種対象者を拡大できないか。〈保健課長〉 がん検診で年間12名から15名の患者が見つかり、早期治療に当たっている。女性特有の

がん検診無料クーポンの効果は大きく、国は大腸がんと肝炎についても無料クーポン事業を検討中であり、詳細決定次第市民に周知を促し対応したい。子宮頸がん予防ワクチン接種は現在ワクチン不足で中断されているが、間もなく現高2より順次接種再開の見通し。

◎安価で生産性も高い米飯給食をもっと推進すべきでは。米粉消費拡大への取り組みは。

〈教育長〉 米飯は一食当たり22円18銭、パン食は48円39銭である。全ての調理場に炊飯設備を新たに設け、委託炊飯から自校炊飯の実施により地産地消の推進を図ってきた。米粉パンは購入代金が割高のため県の補助を活用し、昨年7年7回の実施であった。食材の中で米粉の利用促進を図っている。



防災計画の見直しは、
住民の声を土台に
さとう あきら 議員
佐藤 明

〈市長〉 住民の生命財産を保護するため、専門的見地で策定されるもので、県や関係機関との調整を図りながら対処して参りたい。また、市民の防災意識の更なる高揚を図るためにも、市民アンケート調査の実施についても検討して参りたい。

◎放射性物質の市独自調査を。

〈市長〉 本市では、放射能計測器を所有しておりませんが、計測できない状況にありますが必要により委託調査を実施したい。今後県の補助事業を活用し、計測器の購入を検討している。

◎学校技能士配置をこれまでの各小中学校1名配置を教育委員会に引き上げ9名体制で学校用務にあたるこの事ですが、教育関係者、市職労との話し合いを充分されたのか。困るのは教育現場と子ども達ではないのか。むしろ増員すべきでは。

〈市長〉 教育関係者には教育長を通して説明し、市職労には関係課長が事前に協議を重ね合意をいただいた。スタートしてまだ二カ月であり、今後とも各学校の現状を踏まえながら、連絡調整を密にしながら取り組んで参りたい。



災害に対する危機管理体制の確立について
 白鳥 雅巳 議員

十分機能はしていると認識する。

◎危機管理課が設置され大震災が起った事により、一層危機・安全対策について防災意識が重要と思うが、取り組みはどうか。

〈市長〉災害に強い地域づくりとして、自治会等の自主防災組織をつくり、防災意識の高揚を図りながら、その活動を推進していく。

◎避難者生活をされている方々への「心のケア」は、特に小中学生を預かる教育現場での状況は。

〈教育長〉内面では様々な不安を抱える子供もおりますが、学級担任等も含め、一人一人の心の状況に応じた、きめ細やかな継続的なカウンセリングや家庭との連携に努めている。

◎近隣市町では他県に友好都市、災害協力提携を結んでいるが、今後、本市としての取り組みは。

〈市長〉大震災に遭遇し、災害時における応援関係が一層重要であること認識したところである。

危機管理における地勢や交通の便、相手方の希望等を調査しながら条件整備に努めていく。

常任委員会審査報告

総務常任委員会

◎南陽市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、地方税法施行令の改正により、基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額、介護納付金課税額の課税限度額が引き上げられたことで、地方税法施行令の一部を改正する政令が、平成23年3月30日に公布され、中間所得層の国民健康保険税の負担の軽減を図るため改正を行うものです。内容は、基礎課税額50万円から51万円に、後期高齢者支援金等課税額13万円から14万円に、介護納付金課税額10万円から12万円に、合計で、73万円から77万円に課税限度額が引き上げられるものです。審議のなかで委員からは、現在の滞納額は、課税限度額の引き上げにより滞納額が増えるのでは、また収納率も下がるのでは、何人ぐらい保険税が上がるのか、国保税については保険事業等を含め国保全体の見直しを考え、税の在り方を検討していくことが必要になってくるのではないかなど意見がありました。審査の結果、当局の説明を了とし、全員異議なく原案のとおり可決しました。

(委員長 高橋 篤)

産業建設常任委員会

◎南陽市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、山形県が事業主体となっている最上川流域下水道事業・置賜処理区の事業計画変更に伴い条例の一部を改正するものです。事業の変更は、置賜処理区(南陽市・高畠町・川西町)の人口減少の傾向を反映し、より実態に即した事業とするため、処理人口を27,950人から23,100人に変更するものとの説明でした。委員より処理計画人口と市の五

◎災害発生時に、地下埋設物「水道管、下水道等」が破損した場合の復旧対策はどうなっているか。

〈市長〉緊急時の応急施設復旧については、南陽市上下水道工業協同組合との「連絡業務委託契約」を締結し、迅速な修繕をする体制をとっており、被害が広範囲に及び、水道水の確保が困難となった場合は、近隣自治体からの応援をいただくこととなっている。

◎現状は地域に根ざした公民館としても有効利用されている防災センターであるが、この度の震災でどのような役割をし、避難場所としての適性や機能を果たしたのか。

〈市長〉地震発生後、赤湯駅に取り残されたJRの利用客や市民を13日の朝まで避難所として利用した。このことから、避難所として

次総の目標人口との関係や面積も

減らせないので。また下水道普及率や取り組みはどうかなどの質問がなされました。当局より、推計

人口には大きな差はなく、全体計画処理面積は1,100haであるが、実際の事業計画面積は833haであるとのこと。普及率は76.9%で、普及の推進は融資斡旋利

子補給制度や持家住宅建設助成金、県の補助制度の活用、排水設備店にも普及活動に協力いただいたという説明がありました。

更に環境や地域の活性化、普及率向上に努力いただきたいとの意見が出され、審査の結果、全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市下水道条例の一部を改正する条例の制定について。
 本案は、社団法人「日本下水道協会」の公益法人化に伴い、都道府県の名称の変更が行われることで「日本下水道協会山形県支部」が「山形県下水道協会」に名称変更するため、条例の改正を行うものです。

審査の結果、全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市道路線の認定について。

本案は、今後整備を要する2路線について新たに市道として認定するものです。

稲荷8号線は、県営及び市営桜木住宅の東側の通りで、隣接では宅地の造成も進み、ヨークタウンに通じる利便性もあり、新たに市道認定するものです。

若狭郷屋2号線は、市役所前の通りから西側に延長なるもので、都市計画決定はされているものだが、これからの整備に当たり、市道認定が必須条件であることから新たに認定するもので、2路線について現地調査を行い、慎重に審査した結果、全員異議なく原案のとおり可決しました。

(委員長 板垣致江子)



稲荷8号線

常任委員会管内視察報告

総務常任委員会

5月11日、学校給食センター、桜の里双葉、沖郷第2学童施設を視察しました。

学校給食センターは、本年4月11日から、宮内・漆山・梨郷・沖郷小学校、宮内・沖郷中学校の6校分1,789食の給食業務を年間209日稼働で、行っているとのことでした。

宮内中学校施設に併設された共同調理場であるため、調理場と、ランチルームが一緒になり、なかでも調理場は清潔区域となっており、出入の際にはほこり等を除去するためエアシャワーも設備をしているとのことでした。安全に安心な給食を提供するため色々な工夫をこらした施設であることを委員全員が感じてきたことも加えさせていただきます。

桜の里双葉は、本年4月1日オープンの小規模特別養護老人ホームで、29室すべて個室で施設

の目的でもある『自立した日常生活を営むことができるように地域や家庭との結びつきを重視する』ことであると説明を受けました。

最後に、こぼと保育所内に設置された沖郷第2学童施設を視察。対象学年は4年生から6年生で、現在8名が入所し、1年間色々な行事もあるとの説明を受けました。

(委員長 高橋 篤)



桜の里双葉

文教厚生常任委員会

5月16日、桜の里双葉、沖郷中学校、宮内小学校、小滝小学校、漆山保育園の5箇所を視察いたしました。

桜の里双葉は、地域密着型介護老人福祉施設で、定員は29名であり、居室の広さは10畳弱の個室でした。共同生活室もあり、建物の内側は、白と黒色で落ちつきのある施設でありました。総事業費は3億6千万円、場所は元赤湯保育園の跡地で静かな良い所でした。沖郷中は、生徒数265人、10クラス。梨郷地区内からは、48名がスクールバスで登校しています。また駐車場も100台程度可能となりました。

宮内小は、児童数406人、17クラスです。10年前は573人であったが、ここ10年で170人減少。耐震工事も完了して、残すはグラウンド等の整備のみとの説明を受けました。

小滝小は、児童数12人で複式学級である。間接指導の中で子供が寂しさを感じることもあるとのこと。体育では、体力、技能の差が



小滝小学校

あるとのこと、チームスポーツを教える取組や修学旅行は荻小と一緒にやっているとの事でした。来年入学する見込はなく、次年は1〜2人との事でした。校舎内には多くの花が飾られていたが全て地域の方が持ってきてくれたとの事、地域密着型の学校であると強く感じて来ました。漆山保育園は、園児数19人を、教職員5人で運営しています。区内には約60人の対象子供達がおり、2/3は他の施設へ通っています。今後中身の検討等を行います。代に合った漆山保育園にしていくべきと思いました。

(委員長 田中 貞一)

産業建設常任委員会

5月19日、3カ所の管内視察を行いました。

①東北中央自動車道栗子トンネル工事

東北中央自動車道は福島県相馬市から秋田県横手市までの総延長268kmの高速自動車国道で、南北における高規格道路網を形成し、地域間交流はもとより緊急時における代替等のネットワーク機能の強化を担う路線です。東北最大級の栗子トンネル(8,998m)は「雪に強く信頼性の高い高速道路」とするためR13号より140m低い位置を通過しています。

※新直轄方式で事業が行われ、環境にも配慮し連続ベルトコンベヤシステムによるずり出しを平成22年6月より行っています。完成は上山・南陽開通予定の平成30年に合わせる形にしたいが、この度の地震や財政の問題も様々あるとの説明でした。

②水窪ダム

米沢平野土地改良区管理の水窪ダムは総貯水量3,050万tの

多目的ダム。二市二町の水道水、工業用水、工業用水に使われています。心配される放射線は5月18日の検査で不検出との説明でした。

③山形県企業局置賜電気水道事業所(笹野浄水場)

置賜広域水道用水供給事業は水窪ダムを水源とし浄水処理を行い昭和58年4月より一日最大給水量26,600m³の給水開始。平成19年10月より綱木川ダムを水源とし事業拡張、一日最大給水量6,600m³。

浄水施設を案内いただいた。施設の特徴とし綱木川ダムとの落差を利用した小水力発電設備を設置。最大175kWの発電能力があるとのことでした。(委員長 板垣致江子)



栗子トンネル(山形側)工事

※新直轄方式…整備の緊急性、必要が高い高速道路のうち、有料道路制度では採算性がとれない区間について、国費及び地方費により整備する制度で、国会の「地方の業者を育成しなさい」との付帯決議で、仕事が地元に行く仕組みでもある。

置賜広域病院組合議会報告

置賜広域病院組合議会の6月臨時会は去る6月1日午後2時より南陽市議会議場で開かれました。

議案審査の前に空席となつておりました正副議長等の選挙を行いました川西町議会の斎藤修一議員、副議長に県議会の小池克敏議員をそれぞれ選任いたしました。

6月臨時会に提案された議案

① 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

② 置賜広域病院組合病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について

①については外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の給与等を国内の当該勤務の場合と同じようにするために、給与の算定方法等について所要の改正を行うものです。

②については当病院に患者動向の変化等に対応して、新たに「形



平成23年度から開業した置病院内保育所

成外科」を追加し、併せて医療法等の改正により「循環器科」を「循環器内科」に改める等の必要が生じた事から5月1日付で専決処分を実施し対応していたもので、この度その承認を求められるものであります。

2議案共原案の通り可決並びに承認されました。

(置病議員 殿岡 和郎)

置賜広域行政事務組合議会報告

去る5月27日臨時議会が開催され承認事件1件、議案件4件が上程され全て承認可決されました。その中で主なものを報告します。

◎置賜広域行政事務組合監査委員の選任について

現在欠員となつている組合議会議員選出の監査委員に高橋嘉門氏(米沢市)が選任されました。

◎組合有財産(高機能消防指令センター)の取得について

平成24年4月より開始する消防広域化に伴い、高機能消防指令センターを取得するものです。

○取得価格3億345万円

○取得の相手方(株)富士通ゼネラル(仙台市)

◎平成23年置賜広域事務組合一般会計補正予算(第1号)

汚泥再生処理センター整備事業に關わる国庫補助金の確定に伴い228万3千円を減額するものです。補正後の予算総額は46億2164万4800円となりました。

◎その他の報告

置賜広域行政事務組合議会報告

先に行われた統一地方選挙により5市町(米沢市・長井市・川西町・白鷹町・小国町)の議会議員が同時に改選されたことから置広議会の正副議長並びに各委員会の委員長が新たに次のように選任されました。

○議長 伊藤 俊美(南陽市)
○副議長 武田 正徳(高畠町)
○第一委員会委員長 蒲生 光男(長井市)

○第二委員会委員長 片平 志朗(南陽市)

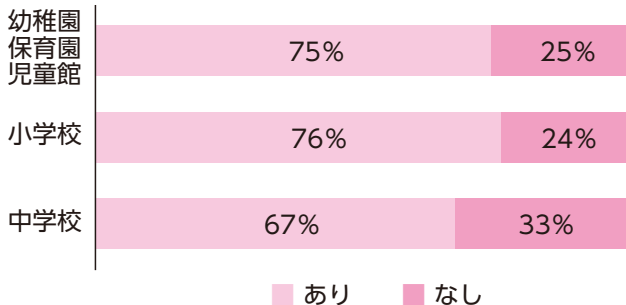
○第三委員会委員長 長沼 佳子(飯豊町)
(置広議員 片平 志朗)



浅川最終処分場

ケート調査を実施しました

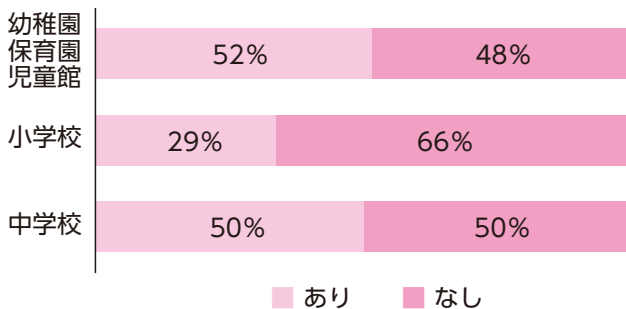
6. 停電により避難、下校等に支障がありましたか。ありの場合、どのようなことですか。



※「あり」の場合の主な意見。

- ・電話がつながらず保護者との連絡が取れなかった
- ・暖房が使えず夕方寒くなった。暗くなると不安等
- ・信号機停止。交差点通行に支障
- ・校内放送が使用できなかった。(学校全体の動きがわからない) 走って連絡

7. 地震によりその後子どもたちの心身の状態に変化はありましたか。ありの場合どのような状態で、どういったケアを行いましたか。



- ・余震を怖がる
- ・少しの揺れや風の音にも敏感に反応するようになった
- ・不安になる、泣き出す、夜1人で眠れなくなった
- ・家族の安否を気にする生徒が多かった
- ・大丈夫、心を落ち着けるよう声掛けした
- ・アンケート、個別面談、家庭訪問、全校集会を行った

8. 今後、大地震が起きた場合、子どもたちの安全を守るために必要な事柄、若しくは設備物品をご記載ください。

■ 必要な物品

ラジオ、反射式ストーブ、懐中電灯、防災頭巾・園児用帽子・ヘルメット、食料、水、毛布など28品目

■ 必要な設備

発電機、停電時使用できる放送設備、非常時でも通じる電話、充電式・電池式無線（災害本部直通）など

■ 必要な事柄

- ・電話が使えない時の保護者への連絡方法、下校(園)時の引き渡し方法の確立(保護者との情報の共有)、停電や断水(ライフライン寸断)の対応等、マニュアルの作成
- ・日頃の避難訓練(シミュレーション)、避難経路(場所、積雪時等)の確認、毎月の安全点検等をするなど

※アンケートの調査結果を詳細に分析し、子どもたちの安全が守れるよう市当局に要望しました。

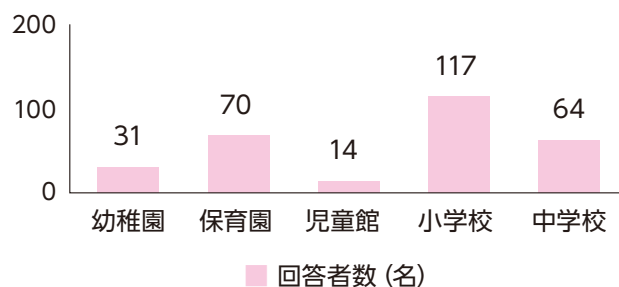


市長に要望書の提出

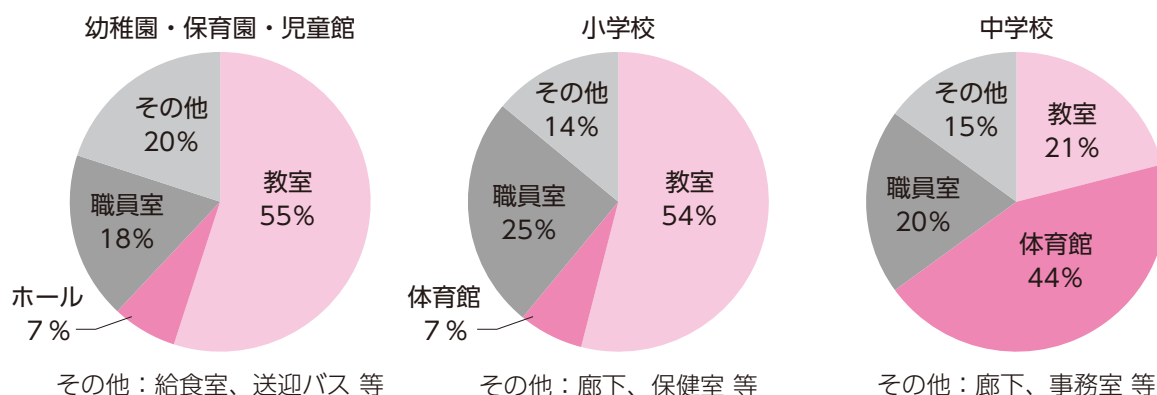
東日本大震災に関するアン

市議会文教厚生常任委員会では、3月11日に発生した東日本大震災において、市内の小中学校、幼稚園・保育園・児童館の地震時の状況を把握し、今後の地震防災対策に活かすため、先生方を対象として、5月17日から6月1日までの期間でアンケート調査を実施しました。

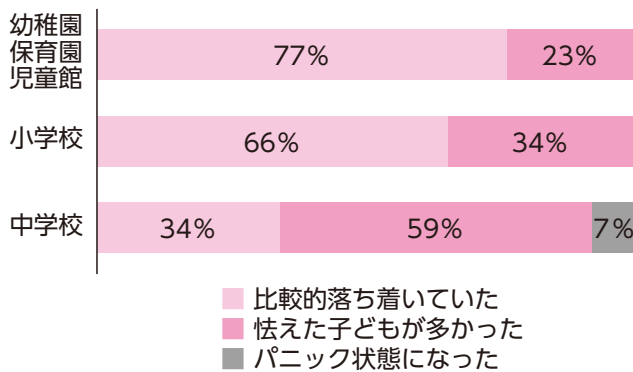
小学校(8)、中学校(3)、幼稚園(3)、保育園(4)、児童館(3)の計296名の先生方から回答をいただきましたので、その概要を報告します。



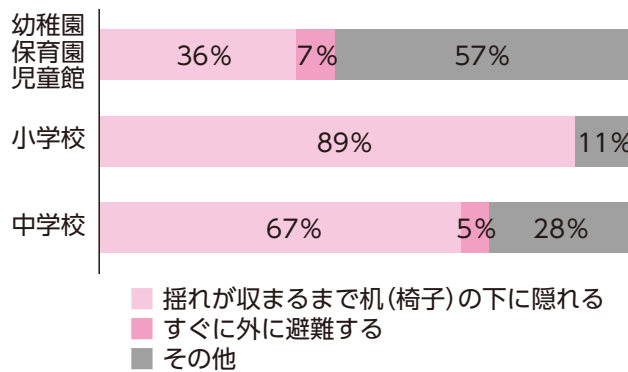
1. 地震発生時どこにいましたか。



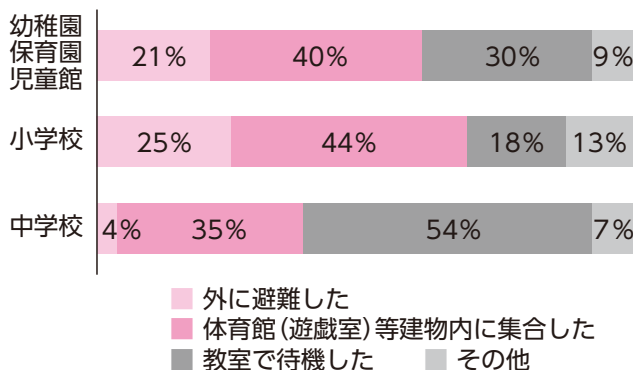
2. 地震発生時の子どもたちの様子はどうでしたか。



3. 地震発生時、子どもたちにどのような指示を出しましたか。



4. 本震が収まった後、どのような行動をしましたか。



5. その際、子どもたちは先生方の指示どおりの行動ができましたか。

	概ねできた	できない子どもが多かった
幼稚園 保育園 児童館	102	1 (0歳児)
小学校	108	0
中学校	56	0

全国市議会議長会表彰

6月定例会において、全国市議会議長会総会で表彰を受けた3名の議員に表彰状が伝達されました。



永年勤続40年
渡部 敬 議員
初当選昭和43年3月



永年勤続25年
小林 啓 市議員
初当選昭和59年3月



永年勤続15年
桑原 仁 副議長
初当選平成8年3月

御礼のことば

渡部 敬

この度、全国市議会議長会会長より表彰を受けました私、渡部敬並びに25年表彰の小林啓市議員、15年表彰の桑原仁議員、3人を代表いたしました一言御礼のご挨拶をさせていただきます。

私も昭和43年以来今日まで11期連続当選をさせていただきました。ひとえに当局の方々並びに議員の

方々の色々な面でのご協力、その賜物だと考えております。

佐藤義一市長から今日の塩田市長まで七代の市長の市政に参画をして参りました。

この40数年間顧みますと、南陽市は色々な面で発展をしたと私自身も満足をしております。佐藤市長時代には赤湯の水不足、最上川浄水場の建設。遠藤東平市長時代には下水道設置。新山昌孝市長の時代には梨郷総合グラウンド

建設。大竹俊博市長になってハイジアパーク、中央花公園体育館建設。荒井幸昭市長になって火葬場の建設、えくぼプラザ、赤湯小学校の建設。塩田市長になって長年の懸案だった中学校の統廃合の問題。中学校の統廃合は大竹市長時代からの懸案でありました。しかし実現できなかった。それが塩田市政になって立派な南陽市の統廃合が完成したと、私自身は長年の夢が実現できて心から満足いたしました。同時に耐震化による各学校の補強工事。我々も大変心配しました開発公社の塩漬け問題。10数億円の借金。それが塩田市長によって無事駅西の土地が立派な施設に出来上がって私はこれ以上何も心に残すことはない、本当にすばらしい40年であったと思えます。七代の市長、当局の退職をされた方々、本当にお世話になりました。

最後にありますが私もこの8月で満80歳。それを考え、今期で私は議員生活を終わりにしたいと思います。本当に長い間お世話になりました。同時に小林議員、桑原

議員共に、皆さんにお世話になったことに対し3人を代表して、市長をはじめ当局の方々、議員の方々に心から感謝を申し上げ御礼の言葉と代えさせていただきます。ありがとうございます。

(本会議最終日 議場にて)

編集後記

遅れていたバラ園の花も満開となり、議場を美しく飾ってくれました。またさくらんぼも真っ赤な実をつけ初夏の便りを届けてくれました。雪の中の大地震がまるでうその様に、季節がめぐっております。美しい緑色に染まった山々、水をたたえすくすくと育った田んぼの苗、小鳥のさえずり、蛙の鳴き声、そんな当たり前の自然がともうれしくまたありがたく感じます。遅々として進まない被災地の復興。同じ空を仰ぎながら早く元気になって欲しいと願うばかりです。

- 委員長 川合 猛
- 副委員長 梅川 信治
- 委員 白鳥 雅巳
- 委員 吉田 美枝
- 委員 高橋 弘
- 委員 板垣致江子